

# 会計報告

昭和60年4月から昭和61年3月までの会計収支決算は、下記の通りとなりましたので、皆様に御報告いたします。

(円)

収入金額	支出金額
繰越金 2,593,410	卒業記念品 33,600
同窓会費 (保16・生2) 945,000	卒業名簿印刷 82,000
利息 105,034	送料・振込料 2,150
同窓会費 (過年度卒) 624,950	会報(印刷・郵便その他) 330,628
総会会費(祝賀会) 16,500	総会(祝賀会) 25,990
バザー売り上げ金 44,790	バザー経費 23,796
会報広告代 (学校より) 40,000	その他 1,340
(イ) 計 4,369,684	(ロ) 計 499,504
収支差引時期繰越金 ¥ 3,870,180 (イ-ロ)	

昭和六十年四月、昭和六十一年三月迄の同窓会費収支決算は上記のとおり承認していただきました。ご不明な点がありましたら、会計

の方までご連絡下さい。三回目のお祝いとなり同窓会終身会費(十年分)納入を今年度も協力願います。同窓生総数二千百余名の内、約半の方々の協力を得ることが出来ました。ご協力を下さいました皆様、ありがとうございます。しかし、まば同窓会を進展させる為の動力源には足りない状態です。今後の皆様のご協力を期待しています。

今年度も個々に未納額をお知らせ致します。郵便振替にて昭和六十二年十二月十日迄に納入をお願いいたします。会員番号(例保一期 三十五)を書き入れて下さい。二回目を迎えた昨年の同窓会バザーは、同窓生多数の御協力をいただき、沢山の手作り品が集まりました。今回は短大購買局と合同で、教室を使って行ないましたので、少々、華やいだ感じの店開きとなりました。



安くてステキな品が盛沢山

水芭蕉 仕事柄、若い人、特に女性と接する機会が多い。だからといって当世若者氣質を語る資格なんぞ持ち合わせてはいないが、この小さなカフェで展開される青春の「コマ」を映しだしてみたいと思う。「私には向いてません」と三日で辞めてしまった女店員に嘆いてるブティックの主人。「タバコ」、「千円札」、「マッパ」かくして、彼女の為に都合六回も足を運ぶはめになった。短大卒業以来二年間、就職浪人



総会風景

昨年七月十九日(土)、文大祭期間中に行なわれました総会は、札幌方面など遠方からいらした同窓生を含め、一昨年とほぼ同じ出席者数で開催されました。初めに、下沢会長より挨拶があり、「今年も同窓会へ御協力をお願いいたします。」とお話がありました。会計報告に関しては質疑応答もなく、昨年度収支決算は承認されました。懇親会は和やかな語らいの中で進行し、六十一年度総会は特に問題もなく終了しました。しかし、同窓会に全く問題がない



懇親会風景

二回目を迎えた昨年の同窓会バザーは、同窓生多数の御協力をいただき、沢山の手作り品が集まりました。今回は短大購買局と合同で、教室を使って行ないましたので、少々、華やいだ感じの店開きとなりました。

## 応待に大忙し

同窓会バザー

昭和61年度

## 総会報告

### 活気ある同窓会を目指して

い訳ではありません。総会出席者が少数に定着し活気がないこと(役員会も同じ)、人材不足のためスムーズに活動が出来ず、役割分担がいつも同じ人になるなど、運営上に幾つかの問題が有ります。同窓会活動を継続していくためには幅広い人材が必要となります。発展方向へと向かう同窓会作りを



題字 北浦 晃氏

第4号 発行 昭和62年10月15日 発行所 文化女子大学室蘭短期大学同窓会 室蘭市高砂町3丁目11-50 印刷所 富士印刷株式会社

御協力を期待しています。

目指し、協力していただける方はその旨を同封のはがきに書き添えて下さい。又、会報に載せる記事を募集しています。原稿を書いて下さる方も同様にお願いします。皆様の御支援、



浪岡先生 今年三月長年に渡りこの短大の教育に御尽力された浪岡先生が退職されました。

浪岡先生 退職・転勤

又川崎徹先生は昭和四十六年より主

浪岡先生は昭和四十六年より主に被服構成の授業を担当され歴史ある文化の洋裁技術をあますところなく御指導下さいました。又先生のなごい言葉やしぐさの中から一人の女性としての生き方も学ばせて頂きました。

## 63年度から3年編入の道

—東京受験も初めて開設—

昭和63年度から、室蘭短大2年修了者に、東京の文化女子大学の3年編入が正式に決まりました。またこの3年編入決定により、室蘭短大への入学希望者を、東京の文化女子大学を受験場として同年度から募集することになりました。東京の文化女子大学家政学部3年編入は、室蘭短大の服装学科時代から認められていたことが、生活教養科になってからはカリキュラム等の関係で中断されていましたが、例外はありましたが……。ところが、昭和62年度から新設された東京の短大の国際文化学部3年編入を希望する声が上がりました。家政学部にも同様に2年修了者を受け入れるべく、新しいコースの設置を含めて検討が行われました。室蘭短大としても、この機会に3年編入を復活してもらいたいという要請、カリキュラム等を調整して、63年度入学者から正式

## 水芭蕉

仕事を、若い人、特に女性と接する機会が多い。だからといって当世若者氣質を語る資格なんぞ持ち合わせてはいないが、この小さなカフェで展開される青春の「コマ」を映しだしてみたいと思う。「私には向いてません」と三日で辞めてしまった女店員に嘆いてるブティックの主人。「タバコ」、「千円札」、「マッパ」かくして、彼女の為に都合六回も足を運ぶはめになった。短大卒業以来二年間、就職浪人

を続けていた女性が札幌に決まりましたと報告に来る。三人連れの女性、足を組み、タバコ片手に上司と同僚の悪口に花が咲く。胸のつかえをおろしたその唇に紅をひく。部屋の隅に若いカップル、連れの女性はハンカチを握りしめ大粒の涙。

昼間の喧嘩が嘘のように、通りには人影もなく、初秋の肌寒い風さえも疲れた身体には心地よく感じられた。(保育科一期 北村啓子)

川崎先生



対談シリーズ 新旧学生課長

# 「苦勞話」を語る

北浦先生



川崎先生は、この四月から、東京の文化女子大学の方へ、転動になられました。学生課として18年もの間、我々卒業生一人一人を見てこられた先生と、それをうけついでいかれる新学生課の北浦先生の対談をお願いいたしました。

北浦

たが学生の方が気を使ってくれた。あの頃の学生は、意欲があったですね。社会の気運の中から緊張感があった。学校作りを我々の手で……の意欲があった。遅くまで討論した事も度々あった。

川崎

北浦先生？十八年前女の子だけの学校に来た時の気持ちをお聞かせ下さい。

北浦

川崎 ミニスカートの時代で感激しました。(笑い)。昔は学生と一緒にやってよくコンパなどをやった記憶がありますね。学生運動の変わり目だったあの頃、先の見通しなどが立たなかった時代の苦勞話一つ。

川崎

北浦 工大からのせめに対して、気を使いましたねえ。文短自身ではあまり動きはなかったですが。

北浦

川崎 今までの自治会活動で第一回、第五回の文大祭が一つの曲り角だった。第五回は反対を押し切って七月に文大祭をもつてきた。一年生が入ったばかりということに反対だった自分達でしっかりとやりました。展示もさ

川崎

北浦 緊張感があったね。動かされやすかった。男女の心配などはなかったか？

川崎

## かえりみれば今羽ばたかん

保育科一期 福士 牧子

お元気ですか。早いもので、卒業して16年と6カ月。

福士

夏には水芭蕉が咲き、秋にはトシボがとびかう丘で、先生や仲間と、時のたつのも忘れて、語りあったあの頃。保育のコースはまだなく、幼児教育一本で深い教育を、と熱の入った先生の講義、暖い夏に、びっぴりかん詰めとなりながら、色々な所からいらした先生の集中講義に耳をかたむけたあの頃。気持ちの上では、何の変わりもないのに、新任で勤めた

福士

12年間も衣食住を共にすることになるのです。この子達が社会に出ても、今のようないい声に聞こえるようにと願って頑張っています。仕事にと、めまぐるしく、溜息が出そうになったり、勤務年数の重さに疲れ、単に日を過ぎたくなるような時、ハッと脳裏をかすめ、私に新鮮な酸素を吹き込んでくれているのも、この教えのよさ、気がします。あの頃に吸収した色々な事が基盤となり、支え続けているから、今の私を明日へつなげてくれるのではないでしようか。

福士

卒業して10年もたつと、文短の

が皆参加できるし。

十八年間で良かったのは、幸か不幸か学生数が少ないことで、家族的にやっていたこと、家族の良さが育てられたこと、評価が高い。

川崎

今年十一月に文大祭をするとのことですが、内容的な面を付け加えていきたいという事で中味に準備期間をかけた。三度目の変わり目になるような大祭にしたい……。

司会

北浦

川崎先生の苦勞話一つ。つらいのは最近になってから。十年位は意気込みでやってきたが、長くやりすぎたかな？ 北浦先生課に期待したい。

川崎

北浦 学生の気質うんぬんも去る事ながら、先生方自身も、年をとってきている。実年令より十才引いて学生と付き合っていたい。学生は常に若いんですから……。フレッシュマンキャンプが変化したのも良い事だった。早い時期に行つて、先生方

北浦

川崎 未来の展望ですが……。学生の問題として、実年令より十才引いてやっていきたい。元氣を出して、自分達でやれる所からやっていきたい。

川崎

室蘭の色を変えるのは我々の役目、室蘭にボクが影響させられるのではなく、暗い時だからこそ、明るい色ではね返したいですねえ。

川崎

ありがとうございます。今回はフリートークの形で、想い出また未来への展望などお話ししていただきました。気がつけば、話はすぐ昔の方に流れてしまし、時のたつのも忘れ話し込んでしましました。川崎先生におかれましては、長い間、学生の窓口である学生課を担当されて来られました。我々の身近な所で常に力になって下さりありがとうございます。東京の方へ行かれましたが、ここ室蘭での経験を生かし、若々しい先生でいて下さいます様、期待いたします。北浦先生にはこれから大きな仕事お待ちしています。よろしくご指導下さいます様、お願いいたします。

## 十周年を迎えた 附属幼稚園

今年三月に十一回卒園児を送り出した附属幼稚園では、昨春秋、十周年を祝う会が開かれました。十年間、幼稚園にかかわってこられた多くの人達と思い出を語り合い、楽しい会を開きたいという事から、三日に分けて会が催されました。

まず初めに、十月十八日、第五回生から第十回生までの小学生二百六名が幼稚園に集合。担任だった先生や、懐かしい友達の様子を見て初めは恥しく、すまして座って話したものの、会が進むにつれて話もはずみ、最後には皆で肩を組んで記念写真を撮りました。

担当保育科一期 下沢 和枝 保育科九期 鈴木 文子

### プロフィール

川崎 徹	A型 さそり座
家族構成	3人
現在	単身赴任で東京在住
住所	東京都国立市西一丁目 一丁目二七
北浦 晃	B型 かに座
家族構成	4人
現在	2人
住所	室蘭市白鳥台2丁目35の7

一期生だという肩の力がぬけ、重みも忘れかけてしまうものですがその頃から職場に、実習や産休代替という形で後輩が出入りするようになりまし。

おのずと、周囲からも、文短の卒業生だったと再認識され、私も、あの時代にもどった様な気分になりました。後輩が誉められると、我事のように嬉しく、けなされると思いをします。

それぞれが個人であつても、一歩外に出た時には、その後ろに、学校を背負っていることになるのだと、つくづく考えさせられます。みなさんは、何かに遭遇した時、

文短時代の事が、走馬燈のように身体の中を、駆けめぐり、懐かしさが、こみ上げてくることがありませんか。あの頃は「良かったなあ」と懐かしむのは、年になってきたせいだと言わずに、ちょっと肩に力を入れ、胸をはってみませんか。ほんの少し世界が違って見えるかもしれないよ。

そして、それぞれの年代に合った女性として、光り輝いていますか。又、自分らしく生きていますか。この間に、まだまだ返事をしかねるのですが、こんな女性として人生を歩めたいいなあーと思ひ、今日より明日に向つて、ほんの少し羽ばたいていてくれる私です。

### 124種類のメニュー



室蘭市中央町アーケード内 TEL 24-4666 保育科一期 北村 啓子

### 編集後記

今年三月に十一回卒園児を送り出した附属幼稚園では、昨春秋、十周年を祝う会が開かれました。十年間、幼稚園にかかわってこられた多くの人達と思い出を語り合い、楽しい会を開きたいという事から、三日に分けて会が催されました。



新旧先生方 勢ぞろい

最後は十月二十五日、第一回生から第四回生の中高生と父母、そして

保育科十二期 山王 佳子

## 本なら 五輪堂書店

高砂店 TEL(44)0875 知利別店 TEL(44)2575 服装科一期 井上 陽子

やはりまぎわまでエンジンがかからないのである。動ける人が少ないという悩みの中、一人でも多くの方の協力を願ひ、次号へ期待したい。